

学科名	A Iシステム科
コース名	
授業科目	アイデアソン・ハッカソン演習 1
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	演習
時間数	30
単位数	2
担当教員	岩堀 信一
実務経験	有
実務経験職種	プロジェクトマネージャー
授業概要	チームメンバーと協業して、成果物を完成させる
到達目標	<p>本科目の到達目標を以下のとおりとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで成果物を完成させることで、専門技術の向上を目指す ・新しいサービスや機能に関するアイデアを生み出すことができるようになる ・自分のアイデアをプレゼンテーションで相手に正確に伝えることができるようになる ・客観的な評価を受けた際にその内容を次につなげる改善する力を身に着ける
授業方法	アイデアソン・ハッカソンが何かをしり、実際にすすめていく。チームでの取り組みの中で、コミュニケーションをしっかりとる。発表の場にて自らのアイデアを伝えていく。プロトタイプに関する中間発表も実施する。成果物を完成させられるだけのプログラミングスキルが必須となるため、不足技術は自ら授業外で能動的に学習することが求められる。
成績評価方法	<p>以下の事項を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度
履修上の注意	本科目は実習形式をとるため、授業出席、積極性が重要となることをよく理解して受講すること。また、成果物の完成に必要なスキルを有していない場合は、能動的に学習することも必要となる。
教科書・教材	日本工学院専門学校ITカレッジ作成資料

授業計画

第1回	ハッカソン・アイデアソンの基本（1）
第2回	ハッカソン・アイデアソンの基本（2）
第3回	構想策定（1）
第4回	構想策定（2）
第5回	プロトタイプ作成（1）
第6回	プロトタイプ作成（2）
第7回	プロトタイプの発表
第8回	計画策定と発表（1）
第9回	計画策定と発表（2）
第10回	成果物作成（1）
第11回	成果物作成（2）
第12回	成果物作成（3）
第13回	成果物作成（4）
第14回	成果物発表と他者評価（1）
第15回	成果物発表と他者評価（2）